

[講演要旨]

関東大震災と東京一江東区の慰霊碑・記念碑・遺構

名古屋大学減災連携研究センター 武村雅之

1. はじめに

武村(2012)は、東京 23 区内に残る関東大震災関連の遺構を調査し出版した。その後、武村(2017)は神奈川県下の調査を実施、その過程で慰霊碑や記念碑の裏を読むことの重要性を痛感した。このため、再度、東京23区内の調査を行うことにした。今回は石碑に書かれている内容の全てを記録し、関連文献も出来るだけ調査し資料集を作成したいと考えている。墨田区と江東区の調査がほぼ終わったので、江東区を例に調査結果の一部を報告する。

2. 江東区の被害

現在の江東区は震災当時は深川区と南葛飾郡の亀戸、大島、砂の 3 町で構成されていた。火災は深川区全域に及んだが横十間川の東に位置する 3 町は一部が焼失した程度で済んだ。このため犠牲者は深川区で圧倒的に多く 4139 人に達した。

旧深川区には慰霊碑が 5 か所にある[平野 2 丁目の浄心寺、白河 2 丁目の宜雲寺、越中島橋畔(永代 2 丁目)、富岡 1 丁目の永代寺、沢海橋東詰公園(東陽 3 丁目)]。宜雲寺、越中島橋畔、永代寺の慰霊碑には、建立者名だけでなく犠牲者名も書かれているので、以下に 3 者の特徴を比較してみる。

3. 3つの慰霊碑

宜雲寺の慰霊碑には全部で 154 名の犠牲者が刻まれ、うち名前不詳(外○名の記載合計)が 20 名で、名前判明分は 134 名である。名前から男女を推定すると、男性 59 名、女性 75 名となり、女性の数が多いことがわかる。越中島橋畔の慰霊碑には合計 82 名が刻まれており、碑文に書かれた 80 余名と整合する。男女数は男性 27 名、女性 55 名となり、圧倒的に女性が多い。この地域(旧大島町)は深川獺師町と言われ深川魚市場もあった場所であり、地震発生時に男性の多くが漁のために海に出ていたとすれば理解できる。永代寺の慰霊碑には合計 49 名(うち 1 名は名前が読めない)の犠牲者名が書かれ、男性 27 名、女性 21 名で男性数が多い。この碑は後で述べるように木場地域の慰霊碑

であり、木場では堀に浮かぶ筏にまで延焼し 1 年分の需要量に相当する木材が焼けたといわれている。川並などが消火作業等を行い殉職したケースが含まれているのかもしれない。

次に慰霊碑を建立した人に注目すると、宜雲寺の碑には、東大工町(現在の白河1丁目から 4 丁目)、越中島橋畔には大島町(現在の永代 2 丁目)、永代寺には、木場材木取扱組の記載がある。それぞれの地域で犠牲者を慰霊したものと思われる。それを裏付けるように、富岡八幡宮の復興記念の神馬の像に記載された祭禮各町總代人の名前と 3 碑の建立発起人や賛助者の名前を対比させると、宜雲寺のは白河町 1 丁目の総代、越中橋畔のは永代 2 丁目(1 人は永代 1 丁目)の総代、永代寺のは下木場と中木場、木場 2 丁目と 4 丁目(1 人は隣の豊住町)の総代の名前がみえる。他の地域の総代の名前は見えない。

最後にそれぞれ同じ場所にある戦災の碑との比較を表にまとめた。建立の時期を見ると、震災は一番遅い越中島橋畔のものでも 7 年後(他は 2 年後)である。これに対し戦災はいずれもかなりの年月が経過してから建立されている。徴兵、空襲、敗戦、占領という混乱が市民生活に与えた影響の大きさを表すのであろう。一方、建立の形式を見ると、宜雲寺の碑は寺が中心である。ただし、震災の碑は住民(檀信徒を含む)主体、戦災の碑は住職主体の印象を受ける。震災、戦災共に住民主体で建立されたのは越中島畔のものである。永代 2 丁目南部町会が中心となって建てられた。ただし、協力した個人・団体(賛助者)は震災の場合の方がはるかに多かった。時代の変化か。永代寺の碑の場合は、筏組合や関連会社を中心となって建立された。震災の方は 2 年後の大正 14 年の 3 回忌に碑が建立され、昭和 34 年の 37 回忌に再び奉納されている。その翌年に戦災の観音像が建てられている。中心となった諸星信二は筏 2 組合に属す諸星組の組頭である。建立の構図は震災と同様であろう。

場所(対象地域)	区分	建立年(経過年数)	名称	犠牲者		建立発起人(世話人)		賛助者
				姓名記載	数	姓名記載	所属	
宜雲寺 (旧東大工町)	震災	大正14年(2年後)	大震災歿死者記念碑	有(134名)	154	個人(36)	住民	(記載なし)
	戦災	昭和56年(36年後)	戦災供養塔	なし	-	12世寛城	寺住職	檀信徒一同
越中島橋畔 (旧大島町)	震災	昭和5年(7年後)	歿死者霊追悼供養塔	有(82名)	82	個人(25)	住民	個人・団体(153)*
	戦災	昭和55年(35年後)	戦災殉難者慰霊碑	なし	300有余	屋号(3)	事業者	個人・団体(57)
永代寺(木場)	震災	大正14年(2年後)	震災供養地藏菩薩像	有(49名)	49	個人(43)	木場材木取扱組	-
	戦災	昭和34年(36年後)	戦災供養観音像	有(59名)	59	個人(32)	2組合・3会社	-
						諸星信二・2組合・1協会		個人(15)
*「最下段」を入れるとさらに14程度増える								